

環境問題に関する世論調査結果について

Q1 ごみの問題への関心 (択一)

関心がある	非常に関心がある	ある程度関心がある
①+②	①	②
92.4	29	63.5

関心がない	あまり関心がない	まったく関心がない	わからない
③+④	③	④	
7.5	6.4	1.1	0.1

H13.7 世論調査 ⑤	①+②-⑤
89.8	2.6

循環計画 目標値 ⑥	①+②-⑥
90	2.4

Q2 「3R」の言葉の認知度 (択一)

認知	言葉の意味を知っている	聞いたことがある
①+②	①	②
53.3	29.7	23.6

知らない	聞いたこともない	わからない
③+④	③	④
46.7	4.5	1.7

Q3 普段の暮らしの中でのごみとの関わり方 (択一)

ごみの問題は深刻だとは考えず、多くのものを買い、多くのものを捨てている	ごみの問題は深刻だとも思わないが、多くのものを買い、多くのものを捨てている	ごみの問題は深刻だと考え、多くのものを買ったり、捨てたりも、ごみを少なくする配慮等も実施していない	ごみの問題は深刻だと考え、ごみを少なくする配慮やリサイクルを多少意識して実施している	いつも、ごみを少なくする配慮とリサイクルを実施している	わからない
1.7	10.8	19.2	52.2	14.9	1.2

Q4 ごみを少なくするために行っていること（複数選択可）

使い捨て製品を買わない	レジ袋をもらわないようにしたり（買い物袋を持参する）、簡易包装を店に求めている	すぐに流行遅れになったり飽きたりしそうな不要なものは買わない	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	友人や知人と、不要品を融通し合う	生ごみをたい肥にしている	詰め替え製品をよく使う	壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ
16.3	62	43.6	20.0	12.4	16.4	63.3	38.6

壊れたものは修理して何度も使う	買いすぎをせず、生ごみを少なくするなどの料理法など、食品を捨てないようにしている	簡易包装に組み組んだり、使い捨て食器類（割り箸等）を使用していない店を選ぶ	ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器や、使い捨て食器類を使わないようにしている	マイ箸を携帯している	その他	特にしていない	わからない
36.8	40.6	16.7	22.4	11.9	0.8	4.5	0.3

循環計画
目標値
50

Q5 再使用や再生利用のために行っていること（複数選択可）

家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している	リサイクルしやすいように、資源として回収されるびんなどは洗っている	不要品を、中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売っている	中古品を利用している	ビールや牛乳のびんなど再利用可能な容器を使った製品を買う	古着を雑巾とするなど、不要になったものでも他の目的で使用する	再生原料で作られたリサイクル製品を積極的に購入している	インターネットオークションに出品したり、落札したりするようにしている
84.1	68.9	16.1	17.0	19.6	47.7	13.3	8.3

循環計画 目標値
50

トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している	携帯電話の店頭回収に協力している	その他	特にしていない	わからない
48.5	17.5	0.4	4.4	0.2

Q6 環境にやさしい製品の購入（グリーン購入）の意識（択一）

意識している	いつも意識している	概ね意識している	多少意識している
①+②+③	①	②	③
81.8	11.1	18.1	52.6

関心がない	まったく意識していない	わからない	その他	H13.7 世論調査	①+②+③-⑤
④	④			⑤	
17.4	17.4	0.7	0.2	83.3	△ 1.5

循環計画 目標値	①+②+③-⑤
90	△ 8.2

Q7 循環型社会の形成についての意識（択一）

現在の生活水準を落とすことであり、循環型社会への移行は受け入れられない	現在の生活水準を落とさず、大量生産、大量消費は維持し、再利用等を進めるなど、できる部分から循環型社会に移行するべきである	廃棄物の処理場や天然資源がなくなってくるのであれば、現在の生活水準が多少落ちることになっても、循環型社会への移行はやむを得ない	現在の生活水準が落ちることになって、循環型社会に移行するべきである	その他	わからない
1.8	39.1	38.1	14.8	0.2	6.1

Q8 ごみの問題の具体的な認知度（複数選択可）

ごみの最終処分場の容量が残り少なくなっている	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対する人が多い	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている	野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題となっている	私有地に廃タイヤやパチンコ台など将来リサイクルするとの名目で、放置されている	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている	稲わらや間伐材など、資源として利用できるものを活かしていないものがある	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、その一部が不適正に処理されることによる環境汚染が生じている
59.7	55.1	41.4	76.1	40.5	72.1	30.4	47.1

その他	特に知っているものはない	わからない
0.1	3.7	0.8

Q9 国の施策の方向性についての意識（択一）

リサイクル や焼却をす る前に、ま ず、ごみの 発生を減ら すこと（リ デュース） に取り組む べき	ごみや不要 品を、再使 用（リユース）や再生 利用（リサ イクル）す ることに取 り組むべき	ごみを処分 するための 焼却施設や 最終処分場 の整備に努 めるべき	その他	わからない			
47	35.9	12.9	0.4	3.8			

Q9 (SQ) （国は今後「リデュースに取り組むべき」または「リユースやリサイクルに取り
組むべき」と答えた者（1,591人）に）
国の具体的な施策についての意識（択一）

廃棄物に関 する現状等 に関する情 報提供	ごみを減ら す工夫な ど、循環型 社会の構築 に向けて私 たちができ る行動に 関する情報 提供	企業の側 で、長期間 利用が可能 となるよう な製品やリ サイクルが 容易な 製品の開発 を進めるた めの制度の 構築	再使用の推 進やリサイ クル品の使 用を促進す るためのポ イント制度 などの 経済的な手 法の導入	修理業やし ンタル業な ど循環ビジ ネスへの支 援	製品の製造 等に使用さ れる原材料 の減量化や リサイクル の高度化な ど 技術開発の 促進	その他	わからない
7.1	28.2	29.7	12.1	6.6	13.5	0.1	2.7

Q10 自然に対する関心 (択一)

関心がある ①+②	非常に関心がある ①	ある程度関心がある ②
91.7	35.2	56.5

関心がない ③+④	あまり関心がない ③	まったく関心がない ④	わからない
8.0	7.2	0.8	0.3

Q11 「生物多様性」の言葉の認知度 (択一)

認知 ①+②	言葉の意味を知っている ①	聞いたことがある ②
36.4	12.8	23.6

知らない ③+④	聞いたこともない ③	わからない ④
63.6	61.5	2.1

H16.3 環境省調査 ⑤	①+②-⑤
30.2	6.2

国家戦略 目標値 ⑥	①+②-⑥
50	△ 13.6

Q12 「生物多様性国家戦略」の認知度 (択一)

認知 ①+②	内容を知っている ①	聞いたことがある ②
19.8	3.6	16.2

知らない ③+④	聞いたこともない ③	わからない ④
80.1	77.8	2.3

H16.3 環境省調査 ⑤	①+②-⑤
6.5	13.3

国家戦略 目標値 ⑥	①+②-⑥
15	4.8

Q13 「生物多様性条約締約国会議」の認知度 (択一)

認知 ①+②	知っている ①	名前は聞いたことがある ②
13.1	3.8	9.3

知らない ③+④	聞いたこともない ③	わからない ④
86.9	84.2	2.7

Q13S 「生物多様性条約第10回締約国会議」の認知度 (Q13で認知している方を対象、択一)

認知
39.7

知らない
60.3

Q14 生物多様性の保全のための取組に対する意識 (択一)

人間の生活がある程度制約されても、多種多様な生物が生息できる環境の保全を優先	人間の生活が制約されない程度に、多種多様な生物が生息できる環境の保全を進める	人間の生活の豊かさや利便さを確保するためには、多種多様な生物が生息できる環境が失われてもやむを得ない	その他	わからない
41.1	50.4	2.7	0.1	5.8

Q15 生物多様性に配慮した生活のためのこれまでの取組 (複数選択可)

節電など地球温暖化対策に取り組む	旬のもの、地のもので購入	生きものを最後まで責任を持って育てる	生きものを観察し、自然とふれあう	環境に配慮した商品優先的に購入	自然や生きものについて話しあう	自然保護活動や美化活動に参加している	エコツアーに参加している
62.8	53.2	41.8	27.0	26.3	22.5	12.2	3.5

その他	特に行っていない
0.4	10.6

Q16 生物多様性に配慮した生活のための今後の取組 (複数選択可)

節電など地球温暖化対策に取り組む	旬のもの、地のもので購入	環境に配慮した商品を優先的に購入	生きものを最後まで責任を持って育てる	生きものを観察し、自然とふれあう	自然保護活動や美化活動に参加する	自然や生きものについて話しあう	エコツアーに参加する
63.2	49.7	43.1	37.8	31.4	26.4	24.6	10.4

その他	行う予定なし
0.6	6.6

Q17 生物多様性に配慮した企業活動への意識 (択一)

評価する	評価しない	わからない
82.4	3.1	14.5